



いこいな
©シンエイ/西東京市

にしとうきょう

広報

ゼロカーボンシティって何?

西東京市での取組

本市では、令和4年2月に2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、積極的に脱炭素社会の実現に向けた取組を進めています。

ゼロカーボンとは

家庭などから生じる温室効果ガスの排出量から、森林などによる二酸化炭素の吸収量を差し引いて、数値を実質的にゼロにすることです。

温室効果ガスとは、二酸化炭素(CO₂)やメタン(CH₄)など、地球を温かく保つ働きを持つ気体の総称。こうした温室効果ガスは、便利な生活のあらゆるところで排出されます。

地球温暖化、私たちへの影響は

西東京市では

最高気温35℃以上の
猛暑日

11
日増

※2014年と2023年比
※練馬観測所データより

大きくCO₂を減らすには「省エネ」がキーワードなのね!

データで見る

西東京市のいま

出典：みどり東京・温暖化防止プロジェクト

西東京市温室効果ガス排出量



ほとんどがCO₂ (二酸化炭素)



全国の家計では照明・家電製品・冷暖房によるものが**51.4%**!
電気からが**47.8%**!!

2030年までのわたしたちの目標

CO₂排出量
323千t



「地球温暖化対策助成制度」を
活用ください。

省エネ家電の活用

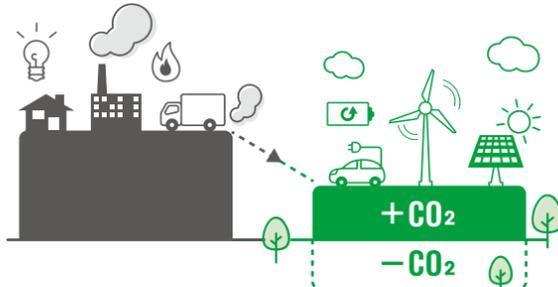
電球形LEDランプは一般電球に比べ、消費電力が約85%低く、寿命は約40倍。家計にお得なうえに交換の手間も減ります。その他、エアコンや冷蔵庫など買い換え時には、家計にも環境にもやさしい選択を。

節電・節水

冷蔵庫に物を詰め込みすぎない、エアコンの使い方を工夫(室温が夏28℃・冬20℃になるように設定)、風呂の保温機能はなるべく使わないなど、ちょっとした取り組みで節電に。

家庭内で水の使用量が多いのは、トイレ・風呂・キッチン。トイレで流すときには大と小のレバーを使い分ける、節水シャワーヘッドを使うなども節水に。

ゼロカーボンシティの実現のために、わたしたちができること



植樹

木は植えられてから成長している間、大気中からCO₂を吸収し減らし続けてくれます。公園や森林を守ることや、観葉植物や多肉植物などを育てるのも効果的。



地産地消・旬産旬消

地域の食材を食べることは、エネルギーの抑制に大きく貢献できます。また、日本の食品ロスは年間約523万tにもなり、その約47%の約244万tが家庭から発生しています。食品ロスを100t削減できれば、ごみを減らし約46tものCO₂を削減ができます。



宅配便の再配達削減

自動車のCO₂排出量は社会課題の一つ。宅配を1回で受け取ることは、CO₂削減に!

- ▶環境保全課 ☎042-438-4042
- ▶ごみ減量推進課 ☎042-438-4043
- ▶秘書広報課 ☎042-460-9804

